

社会民主主義 フォーラム青森 通信

NO.36 2024年 6月15日
フォーラム青森
〒030-0802
青森市本町3丁目3番11号
青森県平和労組会議気付
forum-ao2021@outlook.jp
080-5413-2848 (事務所専用 TEL)

自衛隊の大規模演習参加に反対

6月5日に県庁前で、米軍主催の大規模統合演習「バリエント・シールド」へ自衛隊が初参加することに対しての緊急集会を開いた。この演習は、米軍が2年に一度開催するもので、今回は米軍約1万人・自衛隊約4千人が参加し、台湾有事を想定し日本の一部(9都道県)を使用することになっている。東北では八戸海上自衛



県庁前で抗議する参加者



山名副代表 (八戸市議)

隊基地、宮城松島港自衛隊基地を使用し、米軍戦闘機が初めて自衛隊基地を使用した訓練を行うものである。海自八戸航空基地は本来偵察機地であり、戦闘機の使用は考えられていなかった。今回使用となれば、早朝、夜間の訓練は行わないとしても6月7日から18日までの期間周辺の学校や住民の生活は騒音などで脅かされることになる。この演習の目的が、台湾有事に対処するものとすれば、日本は必然的に戦争に巻き込まれることになる。今日日本は、戦争のできる国の一歩手前にいる。

緊急集会には、約50人が参加して抗議行動を行い、終了後代表者が青森県に軍事演習中止に関する申し入れを行った。

(斎藤憲雄)

＝ 集会アピール ＝

防衛省は5月24日、米軍が2年に1度太平洋地域で実施する大規模演習「バリエント・シールド」に自衛隊が初めて参加することを発表した。これは、現在台湾周辺で活動が活発化する中国をけん制するための合同演習であり、日本周辺で有事が起きた際の日米の即応体制を強化する狙いにある。2001年に当時のアーミテージ米国国務副長官から小泉首相が「ショーフラッグ」戦闘現場で日の丸を見せろと問い詰められ「戦争のできる国」へ変貌するきっかけを作り、今まさに大規模演習への参加は、台湾防衛にかこつけアメリカが日本を戦争への加担に誘導していると思えない。そのため、岸田内閣は今年度防衛予算を約7兆円計上し、そのうち「継戦能力」の強化のため、現在全国14か所1400棟ある弾薬庫にさらに130棟を新設する予算222億円を計上している。県内では大湊海上自衛隊敷地内に建設されている大型弾薬庫がそれである。この弾薬庫こそが攻撃側の最大の標的であり、近隣住民が巻き込まれる危険は増大する。

今回の大規模演習には1万人規模の実働演習であり、自衛隊からも約4千人が参加する。そして、米軍からその一部訓練を日本で行いたいとの申し出もあり国内9都道府県が会場となり、東北では青森県の海上自衛隊八戸航空基地と航空自衛隊松島基地が対象となり、初めて自衛隊基地を米軍戦闘機が訓練に使用するという。これによって騒音公害や事故など周辺住民の安全が脅かされる。この日米戦闘機の訓練は6月10日から18日まで予定されている。まさに、日本の自衛隊が米軍の一部に組み入れられ、戦争に巻き込まれる恐れは増大している。

日本は「専守防衛」と「世界の恒久平和」を基調とする憲法を持っている。それが、戦争を前提とした今大規模訓練に参加することは、近隣諸国に過度の緊張をもたらし、過去の過ちを繰り返しかねない状況に陥ることになる。

岸田首相は、戦争になれば国民がどれほど苦しむのか思い描くことができないのか、アメリカの気に入られることしか考えていないのか、非常に怒りを感じるものである。私たちは、自衛隊の防衛能力増強はもとより、戦争に巻き込まれかねない大規模演習への参加は絶対に反対するものであり、我が国はあくまでも平和を追求するべきであることを求める。

2024年6月5日

自衛隊の「米軍バリエント・シールド」への参加中止を求める緊急集会参加者一同

辻元清美参議院議員を迎えて第3回政治学習会

【辻元清美】「防衛力強化の有識者会議」とは何をするのか。

【木原防衛大臣】メンバー構成は、総合科学技術・イノベーション会議議員上山隆大委員、慶應義塾大学特任教授遠藤典子委員、筑波大学准教授落合陽一委員、東京大学名誉教授北岡伸一委員は座長代理をお願いしております。早稲田大学政治経済学術院准教授栗崎周平委員、関西学院大学総合政策学部特別客員教授小西美穂委員、一般社団法人日本経済団体連合会名誉会長榊原定征さんには座長をお願いしております。日本電信電話株式会社代表取締役会長澤田純委員、元防衛事務次官島田和久委員、元米国特命全権大使杉山晋輔委員、内閣官房科学技術顧問橋本和仁委員、三菱重工株式会社取締役会長宮永俊一委員、元防衛大臣森本敏委員、東京大学大学院経済学研究科教授柳川範之委員、株式会社読売新聞グループ本社代表取締役社長山口寿一委員、前統合幕僚長山崎幸二委員、早稲田大学政治経済学術院教授若田部昌澄委員、です。

【辻元清美】三菱重工は昨年の投資家への説明でも、来年は防衛費倍増するから1兆円程度に増えるというような説明をされています。この三菱重工会長は、防衛省と利害関係者じゃないですか。

【辻元清美】三菱重工から自民党の政治資金団体は毎年多額の企業献金を受けていますね。

【岸田総理】令和2年から4年にかけて、いずれも3,300万円を三菱重工から寄附をいただいております。

【辻元清美】毎年3,300万円ずつこの三菱重工から自民党は政治献金受けています。政治献金もらっているから、委員にふさわしくなくても入れるんですか。

【岸田総理】経済や科学技術、さらには報道など、幅広い分野から有識者の皆さんに御参加いただいております。20人近いメンバーの中に一人、実際にこうした防衛産業に関わっている方からの意見も聞かさせていただくためにメンバーとして入っていただく、全体の構成を考えた場合には不自然ではないと考えます。

【辻元清美】（次期戦闘機、イタリア・イギリスとの共同開発について）自公で協議すると言っているけれども、与党や、これ三菱重工が人を殺す戦闘機を造って、献金もらっている三菱重工が、インド太平洋に売りに行ってもうけようと、そういう人を有識者会議に入れていると。そして、武器を輸出、人を殺す武器は輸出しないとってきた日本の方針そのものを、自公、与党だけや防衛産業の意見を聞いて、また外国の意見を聞いて変える、そんなこと許されないですよ、総理。

（2024.3.4 予算委員会） 要約・文責：佐藤



予算委員会で質問をする辻元清美参議院議員

日時：7月7日（日）13時～

講師：辻元清美・立憲民主党参議院議員
（立憲民主党代表代行）

会場：青森県労働福祉会館 4F

※多くの参加をお願いします。

左記の議事録は、辻元清美 HP から引用し要約したものです。文責は編集部にあります。

被爆 79 周年「原水禁非核・平和行進青森県集会」の開催

1945 年 8 月、ヒロシマ・ナガサキに原爆が投下されてから 79 年目を迎えます。

今年も、原爆の悲劇を再び繰り返すことのないよう「核も戦争もない平和な 21 世紀に！」をスローガンに、「核兵器廃絶」を目指し、広島・長崎に向けての原水禁「非核・平和行進」が行われます。

昨年に引き続き、被爆 79 周年「原水禁非核・平和行進青森県集会」として開催し、集会後、県庁西側までデモ行進を行います。

＝開催要項＝

- ・日時 2024 年 7 月 13 日（土）
11 時～12 時
- ・会場 青森市・本町公園
（青森市本町 1 丁目 1-18）
- ・集会 11 時～11 時 30 分
- ・デモ行進 11 時 30 分～11 時 50 分
会場から新町通り、八甲通り經由県庁西側まで